

3 角 田 山 コ ー ス



角田岬灯台下に見られる溶岩（水中自破碎溶岩）



巻町運動公園入り口に見られる火山灰と砂より細かい土（シルト）からなる露頭

1. 案内図



2. コース周辺の見学地等

角田山登山（灯台コース）か、巻町運動公園への遠足と組み合わせられます。

3. 新潟からの距離とかかる時間

新潟駅を起点として、角田岬灯台下まで約30km。所要時間は約40分。

新潟駅から巻町運動公園まで約30km。所要時間は約40分。

4. コースの全長と観察等に要する時間

角田岬灯台下では、なるべく灯台に近い所に駐車すれば、観察する露頭は目の前です。岩をくりぬいたトンネルから遊歩道の終わりまで行って帰ってくると約30分くらいかかりますが、遊歩道の露頭は基本的にほとんど同一の火山岩です。適当なところで切り上げれば時間の調整は可能です。巻町運動公園入り口の露頭は単独の露頭であるので、30分もあれば十分観察できます。

5. トイレの位置

角田岬駐車場と巻町運動公園の中にあります。

6. 駐車場

角田岬駐車場と巻町運動公園の駐車場を使用します。バスなら10台くらい駐車できます。

角田岬遊歩道コース案内図



観察のポイント

① 露頭ろとうを作っているもの

角田岬駐車場から灯台の方を見てみましょう。灰色っぽい岩石の上に黒っぽい岩石が重なって層のように見えます。しかし、私たちがよく目にする地層とは違うようです。それぞれの岩石はどんなものからできているのでしょうか。

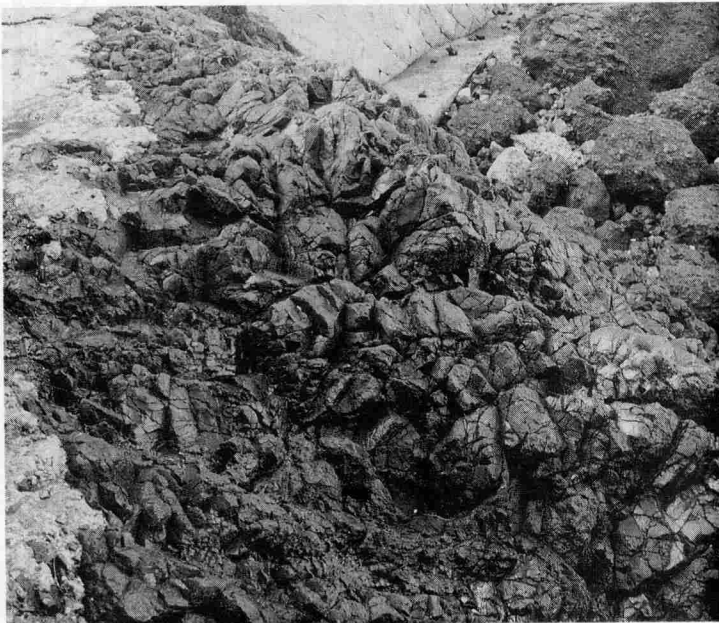
岩石の様子をもっと詳しくみるために角田岬灯台の下のトンネルをくぐって遊歩道に足を進めてみましょう。

左手にはごっごつした岩石が続きます。これは安山岩(複輝石安山岩)の溶岩です。

これらは、海底火山活動によってできた火山岩類だと言われています。



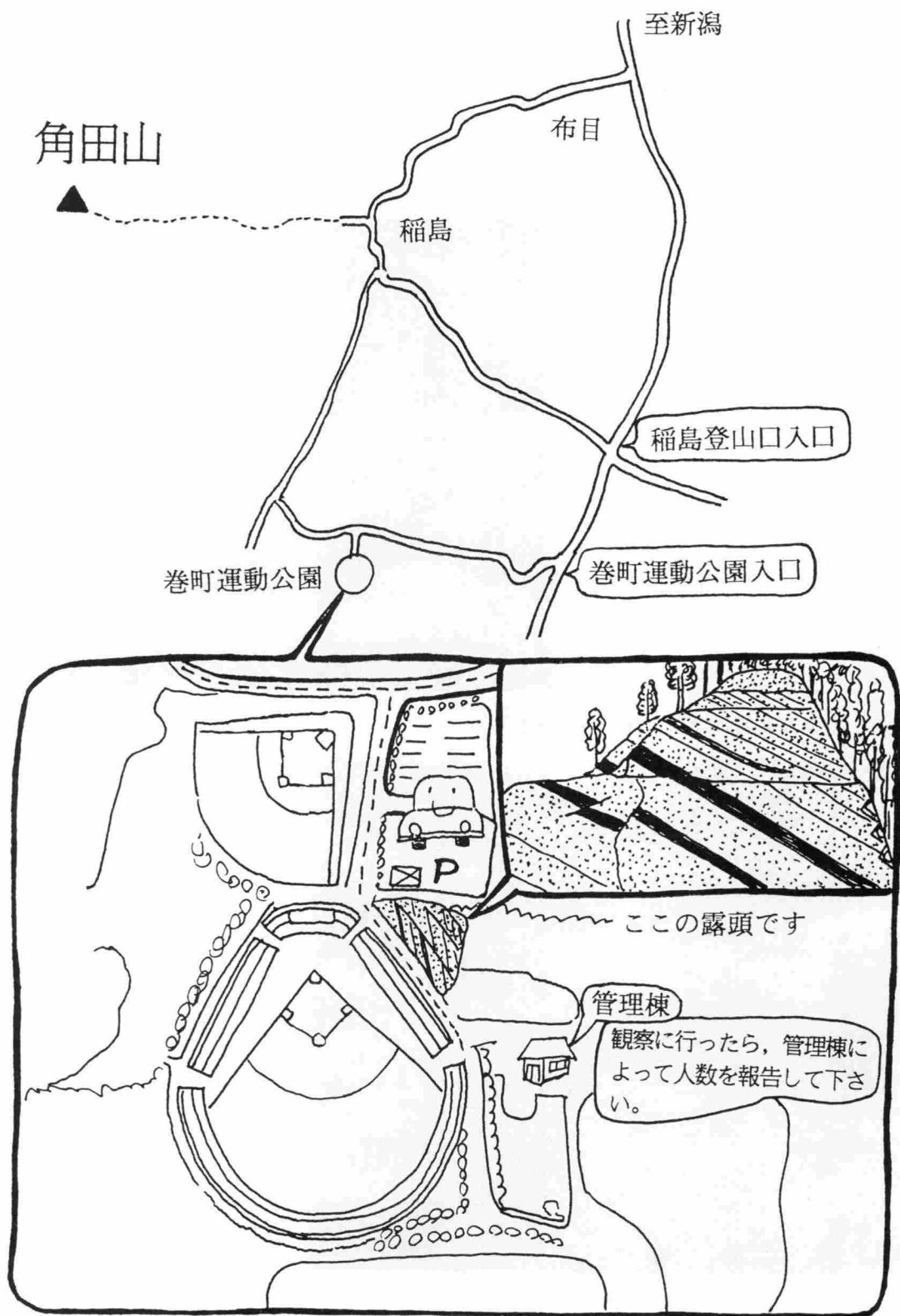
② でき方を考えよう (水中自破碎溶岩すいちゅうじはさいようがん)



ごっごつした岩石はどのようにしてできたのでしょうか。それは溶岩が水中を流れたとき水と接触して表面が冷やされて割れてできたのです。

ごっごつした岩石のまわりを黄褐色のものが満たしているのがわかります。よく見るとそこにラミナという細かいしま模様が見えます。これは水中で堆積たいせきしたことの1つの証拠だと考えられます。

巻町運動公園案内図

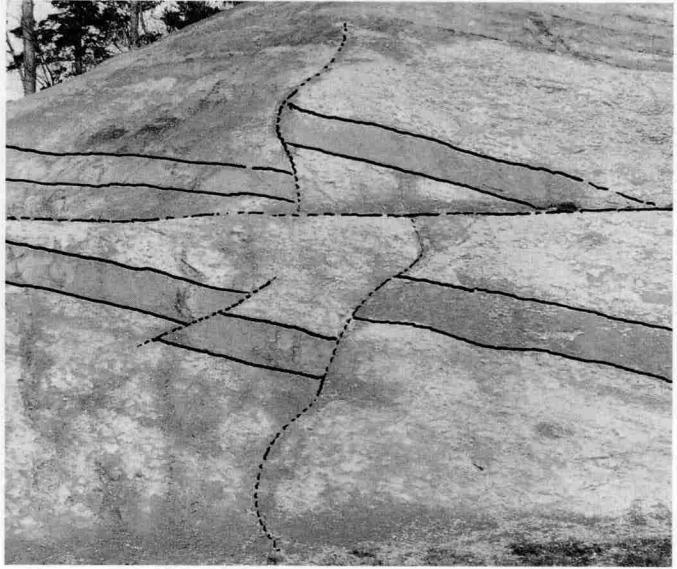


観察のポイント

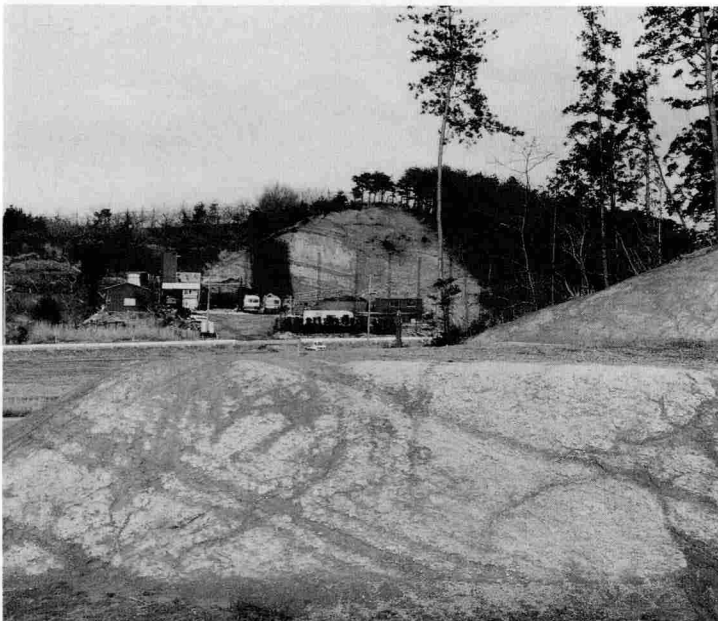
① 地層を作っているもの

駐車場から野球場のわきを通って運動広場に向かう途中にこの露頭^{ろとう}があります。露頭を観察すると、斜めにしま模様があることがわかります。このようなしま模様を地層といます。この色の違いはそれらを作っているものが一つ一つ違うということです。

近寄ってそれらが何でできているかを調べてみましょう。ほとんどが粒の細かい土でできていますね。このような粒の細かい岩石をシルト岩といいます。よく観察すると砂の地層や火山灰の地層が見つかります。土をくずさないように気をつけながら調べましょう。



② 断層^{だんそう}の観察と地層のつながり



露頭をよく観察すると地層が切れてずれているところ(断層)や上下の地層の傾きが違うところ(不整合)が見られます。これらはどのようにしてできたのでしょうか。みんなで考えてみましょう。

また、近くにはこの露頭と似た露頭が見られます。どうつながっているのか考えてみてください。